

# 希少金属資源開発推進基盤整備事業

平成31年度予算額 **3.8億円（3.8億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 希少金属資源は、自動車部素材、IT製品等に添加され、工業製品の製造や素材の高付加価値化に欠かせません。
- このため、本事業では、初期的な資源探査等を実施し、有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継ぐことによって、希少金属資源の供給源の多角化を図り、安定供給を確保します。
- また、希少金属資源探査のための衛星画像解析技術や物理探査技術の高度化を進めるとともに、希少金属資源を効率的に回収するため、探査の結果得られた鉱石の分離技術等の調査を行います。

### 成果目標

- 鉱物資源（ベースメタル）の自給率（金属需要に占める自主開発鉱石とリサイクル原料の割合。平成28年度は50%）を2030年に80%以上に引き上げることを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 素材の高付加価値化に不可欠な希少金属資源等

（自動車の例）



- エンジン部品（チタン）
- 超硬工具（タングステン）
- 製品添加物（樹脂難燃剤（アンチモン）、液晶（インジウム）、ガラス（レアアース））
- 車体（ニッケル、モリブデン、クロム、マンガン、ニオブ、マグネシウム等の鉄鋼添加物）

### 希少金属資源の調査

